

令和8年度 編入学生募集要項

Web出願受付期間	令和 7年 6月 2日(月) ~令和 7年 6月13日(金) 16時
出願書類受付期限	令和 7年 6月13日(金) 16時(必着)
学力試験及び面接	令和 7年 7月 3日(木)
合格発表	令和 7年 7月11日(金)
入学確約書提出期限	令和 7年 7月25日(金) 16時(必着)



独立行政法人国立高等専門学校機構

東京工業高等専門学校

1. 募集人員及び編入学年

募集学科、募集人員、編入学年は下記のとおりです。

学 科	募集人員	編入学年
機械工学科 電気工学科 電子工学科 情報工学科 物質工学科	各学科とも若干名	第4学年又は第3学年

(注) 編入学年は選抜方法に基づく判定結果により決定しますので、編入学を志願する者が、編入学年を選択することはできません。

2. アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

本校では、ものづくり、基礎学力、技術者としての倫理観、コミュニケーション能力、グループ活動を大切に考えることを基本としたエンジニアを育てることを目標に、次のような入学者を求めます。

- (1) 理数系科目が好きであり、それらの科目の成績が優秀である。
- (2) 科学や技術の分野で新しいことを学びたいという学習意欲がある。
- (3) 英語でのコミュニケーション能力習得に熱意がある。
- (4) ものづくりに興味があり、新しいものを作りたいと考えている。
- (5) 仲間とともにグループで作業ができる。
- (6) 自覚的な行動ができる。
- (7) 規則正しい生活と、毎日の自発的学習ができる。

編入学者選抜の基本方針

編入学を志望する学科(学年)の学習に必要な学力、意欲及び適性のある志願者を学力検査及び面接により選抜する。

3. 出願資格

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者
- (2) 高等専門学校において第3学年の課程まで修了し、退学した者
- (3) 次のア～エに該当する者で、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (ア) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (イ) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - (ウ) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (エ) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)

4. 出願方法

Web 出願システムにより出願手続きを行い、検定料(16,500 円+手数料等)を納付の上、下記の出願書類等を本校学生課教務係へ、指定期日必着で郵送(簡易書留)してください。郵送の際には、宛先を手書きせず、必ず Web 出願システムで出力した宛名票を貼り付けてください。これらの手続きが全て完了すると、申込完了メールが届きますので、そのメール受信をもって出願手続き完了となります。出願手続きが完了していないと受験することができませんので注意してください。

出願書類等	適 要
(1) 調査書	在籍または出身高等学校等の所定用紙により、その機関の長が作成し、厳封したものとします。 成績・出欠席数については、現時点までの範囲で記入してください。 (例)高校第3学年1学期在学中の場合、成績は第2年学年末のもの、出欠席は作成日時点の数値を記入。
(2) 卒業見込証明書 又は卒業証明書	在籍または出身高等学校等の所定用紙により、その機関の長が作成したものとします。高等学校卒業程度認定試験に合格した者が出願する場合は、高等学校卒業程度認定試験合格証書の写しを提出してください。
(3) 写真票	Web 出願システムにより作成された写真票を印刷し、提出してください。利用する写真は、出願前 3 ヶ月以内に撮影した正面・上半身・脱帽・無背景のものとし、カラー、モノクロの別は問いません。
(4) 結果送付用封筒	長形3号の封筒に本人の宛先を明記し、460円分(簡易書留料金含む)の切手を貼付してください。

【注意事項】

- ①Web 出願システムを利用する環境がない場合は、現在在学中の学校に相談してください。対応が難しい場合は、出願書類受付期限の1週間前までに、本校問い合わせ窓口にご相談ください。
- ②受理した出願書類は返還しません。また出願書類の差し替え、記載事項の変更や修正はできません。
- ③納付された検定料は、出願手続きが完了していない場合や重複して検定料を納付した場合に返還請求ができます。詳細は本校問い合わせ窓口にご相談ください。
- ④出願書類に不備がある場合は、受理できません。
- ⑤出願書類に不正の事実があったときは、編入学後においても入学を取り消す場合があります。

5. 入試日程・選抜方法

Web出願受付期間	令和 7年 6月 2日(月)～令和 7年 6月 13日(金)16時
出願書類受付期間	令和 7年 6月 13日(金) 16時(必着)
学力試験及び面接	令和 7年 7月 3日(木) 13:00 試験会場集合 13:30～14:30 数学 15:00～16:00 英語 16:20～ 面接 出題範囲 数学・・・数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ(数列のみ) 英語・・・英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ 試験会場 東京工業高等専門学校 選抜方法 学力試験、面接の結果及び調査書の内容を総合して判定します。 なお、志願者が募集人員内であっても、選考基準に満たない場合は、不合格となることがあります。 ※詳細は、申込完了メール発送後に案内する「令和8年度編入学試験受験心得」を熟読してください。
合格発表	令和 7年 7月 11日(金)

6. 合格者の発表

令和 7 年 7 月 11 日(金)に、簡易書留郵便で本人あてに合否結果の文書を発送します。到着は1～2日後となります。なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じられません。

7. 入学確約書の提出

合格者は、合格通知と併せて送付する入学確約書に、本人及び保護者の署名、押印のうえ、本校学生課教務係に持参するか、簡易書留郵便により提出してください。提出期限は、令和7年 7月25日(金)16時(必着)です。

入学確約書は、最終的に合格者の入学意志を確認するものです。提出後に変更することはできませんので、慎重に意志決定してください。また、期限までに提出しない者は、入学の意志がないものとして取り扱います。

8. その他

① 出願時の志望学科の選択について

Web 出願時に志望学科は第3志望まで選べます。第2志望以下を希望しない場合は、「なし」を選択してください。

② 編入学生の卒業要件

第4学年への編入学者は、第4学年及び第5学年における所定の課程を修了することが卒業要件となります。また、第3学年への編入学者は、第3学年、第4学年及び第5学年における所定の課程を修了することが卒業要件となります。ディプロマ・ポリシーにあげた能力を身に付けてもらうために、高学年には各学科の上級生向けの実験、社会実装プロジェクト、卒業研究等、主体的な活動を伴う科目が配置されていますので、それらの活動の基礎となる専門科目については、各学科から入学前に提示する課題に自学自習でしっかり取り組んでください。

③ 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

東京工業高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに東京高専学生課教務係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の1ヶ月前にあたる令和 7 年 5 月 16 日を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、生徒、生徒の保護者及び、在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告(第二次まとめ)」によって示されている、1)障害者手帳の種別・等級・区分認定、2)適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3)標準化された心理検査等の結果、4)専門家の所見、5)高等学校、特別支援学校高等部等入学前の支援状況に関する資料、6)本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※根拠資料に関しては提出の要不要に関しても入試担当窓口までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。事前相談を受けられても、入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。

なお、入学後の修学上の合理的な配慮とは、学生の自立を促し、ディプロマ・ポリシーに合致した人材への成長を促すために必要な配慮を指します。

相談窓口 学生課教務係 (電話番号) 042-668-5127

(FAX) 042-668-5092 (MAIL) kyoumu@tokyo-ct.ac.jp

④ 応募書類に記載された個人情報の利用範囲について

出願者から提出された書類に記載されている情報及び Web 出願システムで入力した情報は、編入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のために使用するものとし、それ以外の目的には使用しません。

- (1) 編入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 教育制度・編入学者選抜制度改善のための調査・研究

入試に関する問い合わせ窓口、出願書類等の提出先

独立行政法人 国立高等専門学校機構
東京工業高等専門学校
学生課教務係

〒193-0997 東京都八王子市栢田町1220-2
電話 : 042-668-5127 FAX: 042-668-5092
Web サイト: <https://www.tokyo-ct.ac.jp/>